

**黒潮町在住外国人向けの防災ワークショップを開催****黒潮町に住んでいる外国人の皆さん、  
一緒に防災について学びましょう****<日時>** 2023年2月5日（日）13時から16時まで**<会場>** 高知県立大方高等学校 体育館

国際協力機構四国センター（JICA 四国）と特定非営利活動法人えひめグローバルネットワークは、黒潮町在住外国人を対象に防災ワークショップを開催します。1月7・8日に黒潮町、NPO 砂浜美術館、高知県立大方高等学校防災委員会等にご協力いただき、セミナーを開催。そこで黒潮町に住む外国人に必要な防災ワークショップの内容を検討し、準備をしてきました。今回約15名の在住外国人に参加してもらい、下記内容のワークショップを開催します。多文化共生型の防災ワークショップをぜひ取材してください。

**共催:** 黒潮町、NPO 砂浜美術館**内容:** 別添チラシ参照

1. ゲーム: 参加外国人と大方高校防災委員会メンバー（各約15名）が仲良くなるためにゲームを実施。
2. 災害の基本: さんすい防災研究所代表山崎水紀夫氏が自然災害について説明。
3. 黒潮町の自然災害: NPO 砂浜美術館塩崎草太氏が黒潮町の自然災害を説明。
4. 逃げ方: 大方高校防災委員会が、スーパーで買い物中に地震が起こった際の逃げ方を説明。
5. 避難所: 大方高校防災委員会が、避難所の仕組みを説明し、参加外国人と一緒にテントを組み立て、非常食の説明。

このプログラムは、JICAのNGO等提案型プログラム「多文化共生型の減災社会づくり実践研修」の一環です。同研修では、四国4県の外国人との共生に積極的な自治体や地元高校生と連携し外国人向けの防災ワークショップを実施します。2021年6月に同研修が始まり、現在4自治体で準備を進めています。

黒潮町の在住外国人数は151名で、人口の約1.45%が外国人です。また南海トラフを震源とする地震により最大津波高が34mと想定されており、町全体で防災対策に取り組んでいます。大方高校防災委員会メンバーと在住外国人が災害時の逃げ方や避難所について学び、両者が共に高齢化が進む同町の災害時に共助の存在になれることを期待しています。

**【本件に関する問い合わせ先】**

JICA 四国 担当: 山科

E-mail: Yamashina.Emi2@jica.go.jp

TEL: 087-821-8825 / 080-7138-9288